



学校だより

# 自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第18号 令和元年9月27日

鯖江市神明小学校

校長 加藤 健二

朝夕は涼しく、過ごしやすい季節になってきました。いろいろなことに気持ちよく取り組める「〇〇の秋」です。子どもたちには、勉強や運動、読書に取り組み、おいしく食事をいただいて、夜はぐっすり眠り、毎日明るく、元気にがんばってほしいと思います。

## ★令和元年 秋の全国交通安全運動実施中

(内閣府 HP より)

運動の実施期間は、9月21日(土)から30日(月)までの10日間となっています。なお、9月30日は交通事故死ゼロを目指す日です。

交通安全運動では、多発する高齢者事故防止と秋口における日没時間の急激な早まりなどを考慮し、次の5つの全国重点を定めています。

- 1 子供と高齢者の安全な通行の確保
- 2 高齢運転者の交通事故防止
- 3 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 5 飲酒運転の根絶



全国交通安全運動ポスター (内閣府)



交通安全運動期間中は、交通安全に対する意識付けをするためにも左腕に腕章をつけるようにしています。車の運転者も、子どもたちの黄色い腕章を見て、交通安全に対する意識が高まり、安全運転につながることを願います。子どもたちを車に乗せるときには、後部座席でもシートベルトをして、安全確保に努めてください。



## ★地震・火災対応の避難訓練実施・・・「お・か・し・も・て」は当たり前

25日(水)に、今年2回目の避難訓練を実施しました。地震発生の放送で、机の下に入り、安全確保を行いました。その後、地震で家庭科室に火災が発生したという放送を聞き、火元を避けて校庭に避難をしました。私の話の後、5年生の態度が良かったこと、話し声が聞こえ、真剣さが足りない人がいたと、担当の渡辺教諭から話がありました。そして、玄関でズック裏を洗い、教室に戻って、避難訓練の様子について振り返りを行いました。



今日の避難訓練は学校にいるときに地震が発生し、その影響で火災が起きたということで行いました。なぜ、このような避難訓練をするのでしょうか? それは「自分の命は自分で守る」ことができるように準備するためです。でも、地震や火災が起きたときに「命を守る」ことは、そんなに簡単なことではありません。だからこそ、日頃から訓練をしっかりする必要があります。「お・か・し・も・て」の約束を守ることは、その基本中の基本です。これがないようでは話になりません。さらに大切なことは、「しっかり話を聞いて、考えること」です。今から話すことをよく聞いて考えてみてください。

地震や火災などの災害は、いつ・どこで起こるか分かりません。寝ているときに起きるかもしれません。そんなときは、真っ暗で何も見えないかもしれません。みんなどうしますか? 旅行に行っているときに起こるかもしれません。そんなときは、どこに逃げていいか分からないかもしれません。どうすればいいのでしょうか? 地震で物が倒れてきて、動けなくなるかもしれません。火事の煙で、周りが見えなくなったり息ができなくなったりするかもしれません。このように、いろいろなことを予想して、地震や火災などの災害に備える必要があります。これからも、「自分の命は自分で守る」ために、どうしたらいいかよく考えてほしいと思います。学校で避難訓練をしたことをお家の人に伝えて、地震や火災などに備えてどうすればいいか家族で話し合ってもらいたいと思います。



## ★3年生、森づくり教室・・・森を守り、温暖化防止に貢献するために

5（木）に3年生は、森づくり教室を行いました。NPOエコネットさばえのどんぐりおじさんと環境アドバイザーの方に講師をしていただきました。大きな紙芝居や写真などを使ったお話で、森を守ることの大切さを学びました。間伐材を利用した積み木を積み上げて遊びました。今度はどんぐりを拾って、種をまいて6年生で植樹できるように苗木を育てる活動を行っていきます。今年の6年生は、10月21日（月）に三里山に大きく育ったどんぐりの苗木の植樹に出かける予定です。



## ★1年生、アサガオの種採集・・・ツルでリースづくりに挑戦(予定)!

生活科で育ててきたアサガオの種を採集しました。種がついている様子もしっかり観察して記録に残しました。、来年も育てるために、採集した種を袋に入れました。最後にツルを切れないように丁寧に外し、丸い輪っか状にまとめました。これから乾燥させて、きれいな飾り付けをしてリースを完成させる予定です。



## ★6年生、ふるさと学習と平和学習・・・福井県平和祈念館見学



20日（金）に6年生はふるさと学習の一環で、福井県平和祈念館に見学に行きました。地域や文化の館の方などから忠霊塔や祈念館の展示品の説明や戦争体験を聞かせていただきました。体験談は子どもたちの心に響き、戦争の怖さを感じ取るとともに、現在の平和な暮らしを守っていかなくてはならないという気持ちを強くしていました。